

小城式観光ビジョン ～また来たくなる、やさしい小城～

まち

小城が目指す観光とは

小城には、有名観光地のような広域から多くの来街者を惹きつける突出した観光スポットを多く持っているわけではありませんが、歴史・文化・風土・自然など魅力的な資源が点在しています。そして何より市民力があります。市民によるやさしいおもてなしを来街者に体験してもらうことを、小城が目指す観光（＝小城式観光）と定めます。

ビジョン策定の目的

これまで小城市や小城市観光協会において、各団体の計画に基づき個別に事業に取り組んできましたが、より効果的に観光振興を図るには、小城の強みや社会変化を捉え、市民や企業、関係団体等と連携し、総合的かつ一体的に推進する必要があります。そのため、小城が目指す観光、その実現に向けた推進方針、取組みの方向性について、市民をはじめ関係者の共通理解を得ることを目的としてビジョンを策定します。

小城の課題

観光	広域から集客可能な突出した観光スポットに乏しい 歴史・文化資源を観光資源として活用できていない
環境	点在する観光スポットを巡る交通手段やルートが限定的なため、周遊の体験価値が乏しい 来街者目線に立った利便性につながるサービス・設備に乏しい
情報発信	情報整理・一元化ができておらず、小城が持つ魅力を十分に発信できていない
担い手	歴史・文化を伝承する人、地域の活動を支える人が高齢化しており、担い手が減ってきている

小城の強み

歴史・文化	市内に点在する豊かな観光資源 (小城羊羹、鯉料理等の食文化 / 佐賀平野、有明海などの自然資源 / 寺社仏閣等の文化資源 / 集客施設の整備) 四季折々に彩る自然や文化、食を活用したイベントの開催
交通立地	小城スマートICの開通 (福岡都市圏から1時間圏内) 地域高規格道路などの整備による多方面からの交通アクセスの充実
市民活動	志縁団体による活発な市民活動 第1期ピングラボで醸成された市民共創の機運
情報発信	各組織が行ってきた観光PR媒体の基盤 (おきゅっと/オギナビ/おきなう/その他パンフレットなど)

新型コロナの影響による観光様態の変化

域外ニーズ	「小規模で近場」へ、ミニマムな観光様態への変化 密を避け、距離を保つことができる屋外での観光ニーズの高まり
-------	--

実現に向けた推進方針

市民との共創による観光振興

「また来たくなるやさしい小城」を実現するために、市民共創での観光振興を進めていきます。小城市では、市民と行政が一体になり協働していくことで、豊かな地域社会の構築を目指す「協働によるまちづくり」を推進しており、これまでに培われてきた市民共創を土台に、ピングラボの手法を用いて来街者目線に立った質の高いサービスを生み出すことを目指します。市民との共創により様々な視点を取り入れて小城の観光振興をさらに発展させていきます。

取組みの方向性

- 1 観光様態の変化に対応した観光資源の磨き上げと、つながりから生まれる価値の創造
- 2 点在した観光スポットを包含した周遊ルート、それに伴う手段の整備と周遊したくなる仕掛けづくり
- 3 各団体や市民と連携したガイドの育成およびおもてなし体制の構築
- 4 来街者の目線に立った、利便性向上につながるサービス・環境整備
- 5 観光・歴史・文化などの情報をストーリーとしてつなげ可視化した分かりやすい情報発信

